[業界別レポート] 働く人と職場2018 - アパレル・雑貨販売編 -

「業界別レポート] 働く人と職場 2018 - アパレル・雑貨販売編 - とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2018」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートはアパレル・雑貨販売を対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、アパレル・雑貨販売での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、アパレル・雑貨販売での就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。 (ただし、企業側の回答数が少ないため参考としてご覧ください。)

【目次】	
回答者プロフィール	2
1. 仕事の選択理由	3
2. 仕事を継続する理由	5
3. 離職の理由	7
4. 必要を感じる改善点	9
5. 意向・非意向の理由	11
【参考】 勤務時間	13

調査概要

・調査名 : 特定業種に関する調査

・調査目的:求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、

今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。

・調査方法:インターネット調査(クロス・マーケティング社モニター利用)

・調査期間: 2017年9月27日(水)~9月29日(金)

企業側のみ追加調査 2017年10月27日(金)~11月13日(月)

調査対象:20~59歳までの男女(全国)

■個人側

- 現在、対象業種に従事している人
- 過去に対象業種に従事したことがある人
- これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
- これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

■企業側

- 現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職(課長・店長以上)・経営層、 かつ人事・労務・教育または経営企画・総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はアパレル・雑貨販売の、計721人。

		個人側					
		就業経験者		就業非経験者		企業側	
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	Í	
コンビニエンスストア		200	100	200	200	4	
ホテル・旅館		200	100	200	200	20	
飲食店	ファーストフード	111	100	200	200	11	
	居酒屋	156	100	200	200	13	
アパレル・雑貨販売		200	100	200	200	21	
介護サービス		200	100	200	200	43	
ドライバー		200	100	200	200	101	

[※] なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者とB.離職者は女性が7割を超える一方、企業側は男性が8割以上を占める。また、C.意向者では女性が6割強、D.非意向者では男性が6割強となっている。

A.就業者のうち、正社員 *1では、約4割が男性、正 社員以外*2では9割以上が 女性である。



回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。

A. 就業者は30代が29.5%でもっとも多く、次いで20代が多い。企業側は50代が47.6%でもっとも多い。

A.就業者を正社員、正社 員以外でみると、ともに30 代が比較的多い。

0% 20% 40% 60% 80% 100% A. 就業者 (n=200) 20.5 B. 離職者 (n=100) 27.0 C. 意向者 (n=200) 18.5 D. 非意向者 (n=200) 24.0 企業側(n=21) 47.6 Aのうち 正社員 (n=109) 21.1

0%

A. 就業者 (n=200)

B. 離職者 (n=100)

C. 意向者 (n=200)

D. 非意向者 (n=200)

Aのうち 正社員 (n=109)

正社員以外 (n=91)

正社員以外 (n=91)

企業側(n=21)

20%

40.4

■男性 ■女性

■20~29歳

40%

60%

80%

100%

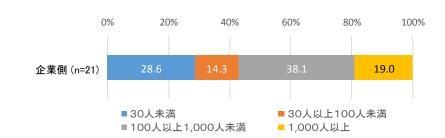
19.8

■30~39歳 ■40~49歳 ■50~59歳



企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。

「100人以上1,000人未満」がもっとも多く、次いで「30人未満」が多い。



- ※1 自営業者などを含む。
- ※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、正社員以外のうち学生アルバイトは1.5%。



1. 仕事の選択理由

A. 就業者と企業側

■ A. 就業者の上位5項目

アパレル・雑貨販売で働いている就業者に、現在の仕事を選んだ理由を聞くと、「お客様から感謝される」がもっとも割合が高い。「提供するサービス、商品が魅力的」が上位に入るのも、この業界の特徴と言えるだろう。

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

お客様から感謝される	75.5
通勤の利便性がよい	68.5
職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう	67.0
提供するサービス、商品が魅力的	66.5
職場の人間関係がよい、よさそう	64.5

■ 企業側の上位5項目

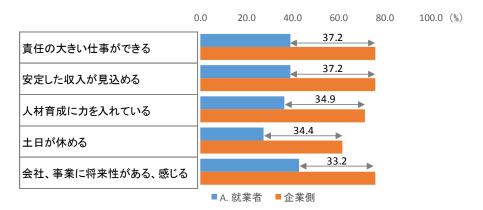
企業側が考える、従業員が現在の仕事を選んだ理由は、「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」がもっとも割合が高い。「経営が安定している」以外の4項目は就業者の上位項目と共通している。



(%, n=200) (%, n=21)

■ A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

「責任の大きい仕事ができる」「安定した収入が見込める」「人材育成に力を入れている」といった項目で、企業側の方が割合が30ポイント以上高い。企業側が考えているほど就業者が魅力に感じていないと考えられる。

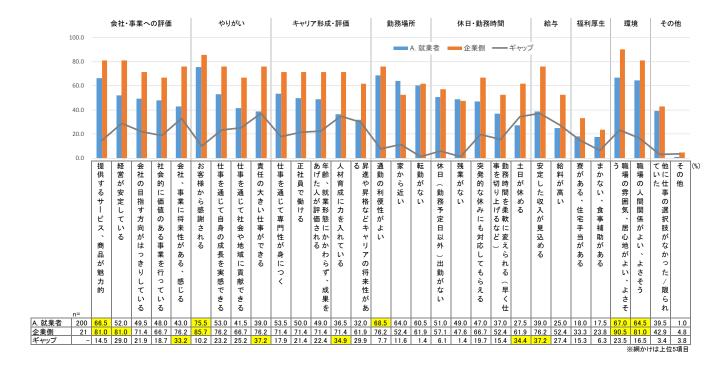


1. 仕事の選択理由

現在アパレル・雑貨販売で働いている就業者と企業側に対して、就業者がその仕事を選んだ理由は何か (何だと思うか) 聞いた。

まず就業者が現在の仕事を選んだ理由では、「お客様から感謝される」がもっとも割合が高い。「提供するサービス、商品が魅力的」や「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」が上位に入るのも、この業界の特徴と言えるだろう。一方、企業側の回答では、「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」がもっとも割合が高い。

就業者と企業側のギャップを見ると、企業側の方が割合の高い項目が多く、「責任の大きい仕事ができる」「安定した収入が見込める」「人材育成に力を入れている」といった項目では、企業側の方が30ポイント以上高い。企業側が考えているほど就業者が魅力に感じていないと考えられる。



【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先(店舗、事業所、営業所)を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。 (非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)

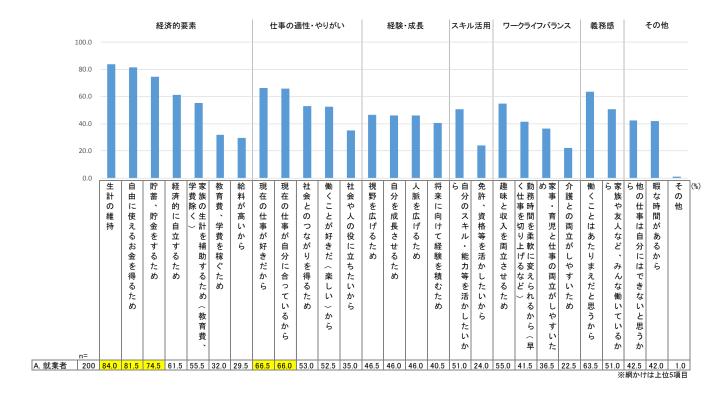
【企業側】

Q. 従業員の方々が、お勤めの会社を選んだ理由はどのようなことだと思われますか。(非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)



2. 仕事を継続する理由 A. 就業者/正社員と正社員以外

就業者に、アパレル・雑貨販売での仕事を続けている理由を聞いた。上位にはまず、「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」「貯蓄、貯金をするため」という経済的要素があげられた。次いで「現在の仕事が好きだから」「現在の仕事が自分に合っているから」も上位になっている。仕事で扱う商品が好きだから、自分に合っているからという理由が大きいものと考えられる。一方、経験・成長やワークライフバランスはそれほど継続理由とされていない。



【A. 就業者】

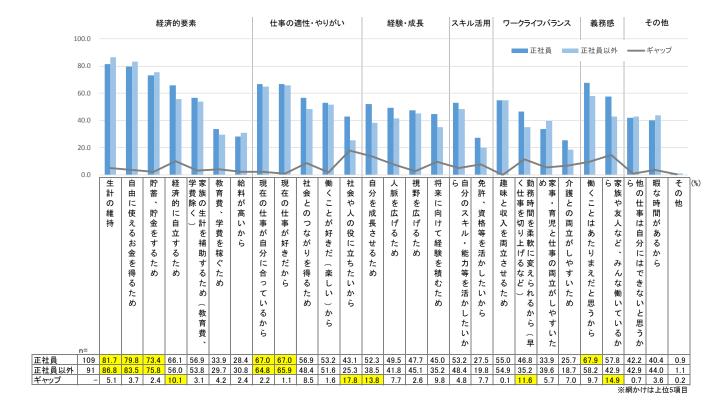
Q. あなたが現在、「アパレル・雑貨販売の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。(非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)

2. 仕事を継続する理由

現在の仕事を続けている理由について、A.就業者を正社員と正社員以外*で分けてみよう。(※「正社員」には自営業者などを含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。)

いずれも上位は、経済的要素や「現在の仕事が好きだから」などとなっている。

両者のギャップは全体的にあまりないが、比較的ギャップが大きい項目を見ると、「社会や人の役に立ちたいから」「家族や友人など、みんな働いているから」「自分を成長させるため」「勤務時間を柔軟に変えられるから」「経済的に自立するため」といった項目で、いずれも正社員の方が割合が高い。



【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「アパレル・雑貨販売の仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。(非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)



3. 離職の理由

B. 離職者と企業側

■B. 離職者の上位5項目

アパレル・雑貨販売の離職者に離職理由を聞くと、「一時的に就いた仕事だから」がもっとも割合が高く、給与に関する項目が2番目、3番目になっている。

0	0.0	20.0	40.0	60.0
一時的に就いた仕事だから		46.0		
給与、報酬が低いから		41.0		
給与・収入があがらない、上がる見 込みがなさそうなため		40.0		
仕事の責任が重いから		32.0		
他に優先させるものがあるため		32.0		

(%, n=100)

■企業側の上位5項目(正社員)

企業側に正社員の離職理由を聞くと、まず給与に関する2項目があがっており、離職者の上位項目と一致している。

0.0

20.0

40.0

60.0

給与、報酬が低いから	33.3
給与・収入があがらない、上がる見 込みがなさそうなため	28.6
会社の経営方針に不満を感じてい るから	19.0
他に興味のある仕事をみつけたから	19.0
仕事量が多いから	14.3
残業が多いから	14.3
会社、事業の将来に不安を感じるから	14.3

(%, n=21)

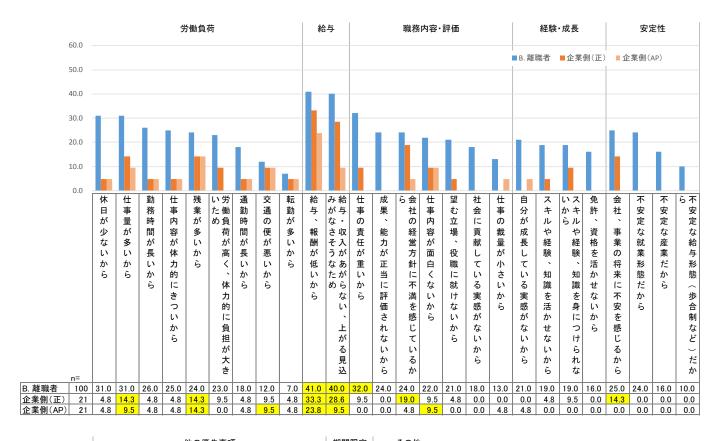
■企業側の上位5項目 (パート・アルバイト)

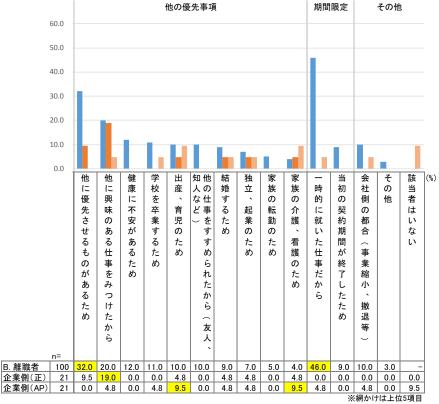
企業側にパート・アルバイトの離職理由を聞く と、「給与、報酬が低いから」「残業が多いか ら」などが上位にあがった。

	0.0	20.0	40.0	60.0
給与、報酬が低いから	23.	8		
残業が多いから	14.3			
仕事量が多いから	9.5			
交通の便が悪いから	9.5			
給与・収入があがらない、上がる見 込みがなさそうなため	9.5			
仕事内容が面白くないから	9.5			
出産、育児のため	9.5			
家族の介護、看護のため	9.5			

(%, n=21)

3. 離職の理由





【B. 離職者】

Q. あなたが以前、「アパレル・ 雑貨販売の仕事」で働いて いたにもかかわらず、離職し た(やめた)のはどのような 理由からですか。(非常にあ てはまる・ややあてはまる計 /MA)

【企業側】

Q. 会社を辞めた従業員の方々が、 会社を辞めた理由はどのよう なことだと思いますか。(正 社員、パート・アルバイト/ MA)



4. 必要を感じる改善点

A. 就業者と企業側

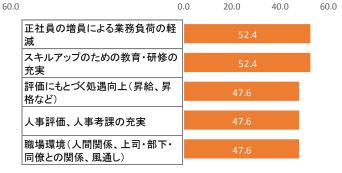
■A. 就業者の上位5項目

アパレル・雑貨販売で働く就業者に、必要を感じる改善点を聞くと、「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「正社員の増員による業務負荷の軽減」「評価にもとづく処遇向上」などが上位となった。

■企業側の上位5項目

企業側が必要を感じる改善点をみると、上位5項目のうち「正社員の増員による業務負荷の軽減」「評価にもとづく処遇向上」「職場環境」の3項目は就業者と共通している。

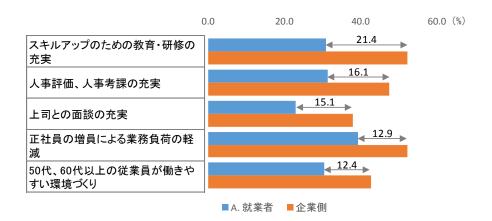




(%, n=200) (%, n=21)

■A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

「スキルアップのための教育・研修の充実」「人事評価、人事考課の 充実」「上司との面談の充実」といった項目でギャップが大きい。これ らはいずれも企業側の方が割合が高い。

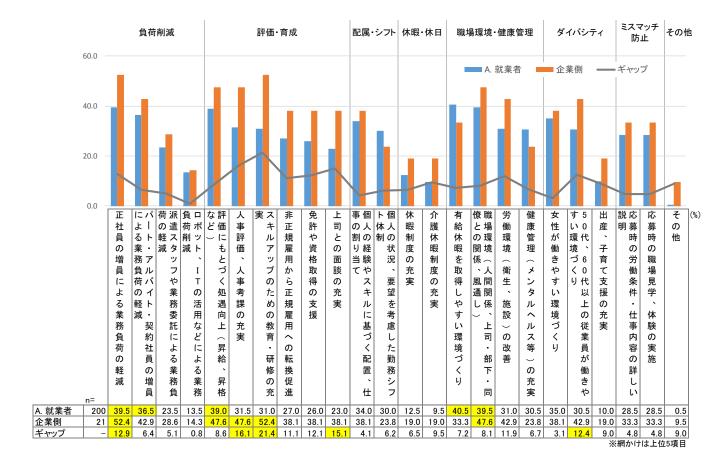


必要だと感じる改善点を、就業者と企業側に聞いた。

就業者が必要を感じる改善点としては、「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「正社員の増員による業務負荷の軽減」「評価にもとづく処遇向上」などが上位となった。

企業側の回答を見ると、上位5項目のうち「正社員の増員による業務負荷の軽減」「評価にもとづく処遇 向上」「職場環境」の3項目は就業者と共通している。

就業者と企業側のギャップを見ると、「スキルアップのための教育・研修の充実」「人事評価、人事考課の充実」「上司との面談の充実」といった項目でギャップが大きく、いずれも企業側の方が割合が高い。就業者の方がより直接的な処遇向上や負担の軽減を求めているようだ。



【A. 就業者】

Q. あなたの勤務先(店舗、事業所、営業所)は何らかの改善が必要と思われますか。(非常に必要・ 必要計/MA)

【企業側】

O. あなたがお勤めの会社では、何らかの改善が必要と思われますか。(非常に必要・必要計/MA)

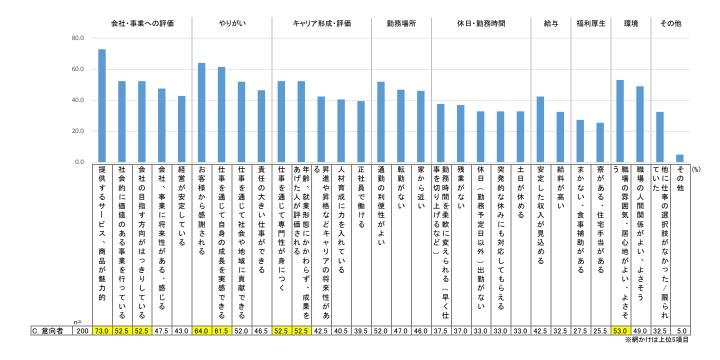


5. 意向・非意向の理由

C. 意向者、D. 非意向者

これまでにアパレル・雑貨販売で働いたことはないが働いてみたいという意向者に、その理由を聞いた。 上位にあがった項目のうち、「提供するサービス、商品が魅力的」「お客様から感謝される」「職場の雰 35、民心地がよい、よさそうしは、現在アパレル・雑貨販売で働いている就業者が休恵を選んだ理中と共

上位にあかった項目のつら、「提供するザービス、商品が魅力的」「お各様から感謝される」「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」は、現在アパレル・雑貨販売で働いている就業者が仕事を選んだ理由と共通している。商品への愛着や職場の雰囲気のよさは、この仕事の魅力となっていると考えられる。

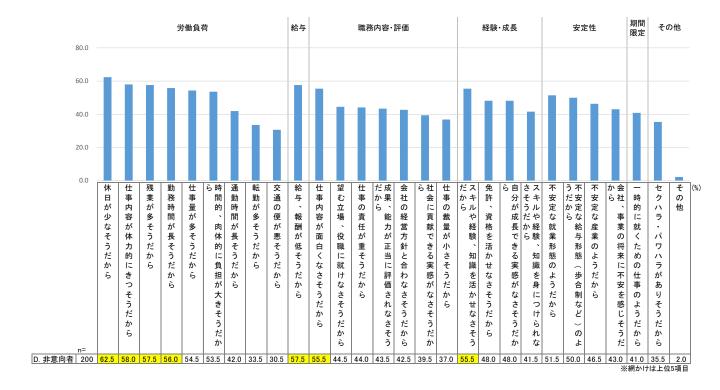


【C. 意向者】

Q. あなたが、「アパレル・雑貨販売の仕事」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。(非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)

アパレル・雑貨販売で働いたことはなく、これからも働きたくないという非意向者にその理由を聞いた。 まず上位になったのは、「休日が少なそうだから」「仕事内容が体力的にきつそうだから」「残業が多そ うだから」「勤務時間が長そうだから」といった労働負荷と、「給与、報酬が低そうだから」という給与の 面である。また、「仕事内容が面白くなさそうだから」「スキルや経験、知識が活かせなさそうだから」も 上位になっている。

商品への愛着や職場の雰囲気はこの仕事の魅力となっているものの、それ以外の働き方の面での魅力はあまりイメージされていないものと推測される。



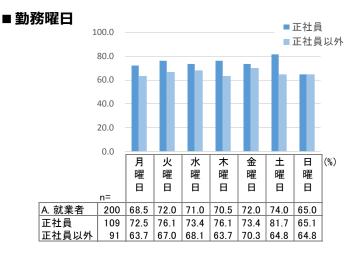
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「アパレル・雑貨販売の仕事」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。(非常にあてはまる・ややあてはまる計/MA)



【参考】 勤務時間 A. 就業者/正社員と正社員以外

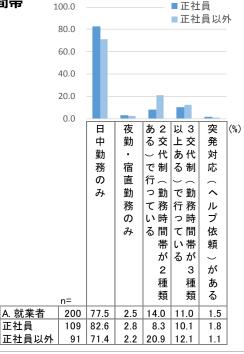
■ 1週間の 勤務日数 ■正社員 80.0 ■正社員以外 60.0 40.0 20.0 0.0 2 3 4 5 (%) 6 日 日 日 日 日 日 A. 就業者 200 1.5 2.5 4.0 8.5 60.5 23.0 正社員 109 1.8 0.9 0.0 4.6 59.6 33.0



■ 勤務時間帯

正社員以外

91



8.8

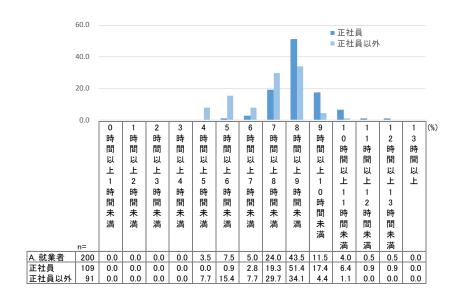
13.2 | 61.5 |

11.0

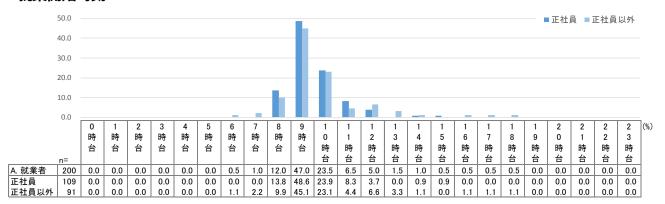
【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務日数をお知らせください。(NU)
- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務曜日をお知らせください。(MA)
- O. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。(MA)

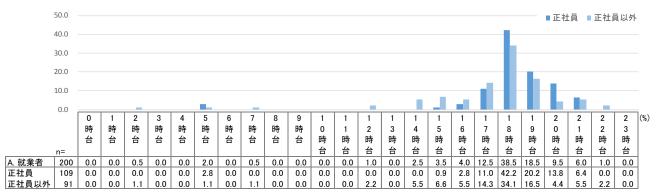
■ 1日あたりの平均勤務時間



■就業開始時刻



■就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)、1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。(NU)
- Q. あなたがお勤めの会社の代表的な(よくある)1週間の勤務の就業開始時刻と終了時刻について 多い順に記入してください。/パターン1(NU)